

5番(中村 充男君) さわやかな笑顔のある町、そしてうそのないまちづくりを目指しております中村充男でございます。

まずは先の町長選挙におきまして当選と、このたびのご就任、まことにおめでとうございます。徳川家康が江戸に幕府を築いた時も60歳、ちょうど同じ年でございますので、しっかりと頑張っていたきたいと思います。

ちょっと手荒い歓迎でございますが、唐突でございますし、大変ご無礼でございますが、私はその席に、まさかあなたがお座りになるとは思ってなかったんです。我が東員町の住民の方々も、心が寛大というか、広いというか、そして情に深いというか、私は今さらながら、あなたのお父さんの偉大さを、まざまざと見せつけられたこの選挙でございました。

私はその隣の副町長、そこにも安藤副町長が座っておられるとは思わなかったんです。サプライズでございます。あちこちの演説会場で、県やら他市町から、立派な副町長を持って来るんだと、こう豪語なさっておられた今の町長ですが、副町長が隣の安藤さんで内心ほっとしているのです。

と申しますのは、ここに立派な部長、課長の職員の皆さんがいらっしゃる。職員の皆さんは安藤副町長を鏡として、おれたちも頑張れば、副町長や教育長になれるんだと、こういう頑張りや信頼も厚く、人望厚い方でございますのに、県やら他市町から、ひょこっと副町長の席を持っていく。教育長はどこかの学校の校長先生をしていたのが、こっちにひょこっと取っていく。これでは職員は頑張りようがない。

優秀な職員のためにも、ひとつ最後の佐藤町長が、また大きな人事の異動をしていかれました。これも私、もうやめられる町長が、なぜここまで人事を触っていくんだろうというふうな気もいたしました。それはそれ、そしてあなたは過去3期、12年間、三重県の県会議員をなさいました。たしかその時には自由民主党で出られたと思うんです。その後、知事選挙に出られました。この時には前総理の鳩山さんの応援をもらったということは、民主党からの支援もいただいたのか、民主党にかわられたのか、無所属でありながら民主系というのか。

その後、何を思われたのか、就職活動なのか、席を四日市に移されて、四日市の市長選挙に出られた。これはどういう党から出られたのか、私の知る限りではございませんけれども、要はこのたびの町長選挙はどういう立場で、どういう気持ちでお立ちになられたのかということをお伺いしたいのが1点。

次に昨日から、私どもの同僚議員から、マニフェストの中より個々に取り出して、いくつかの質問がなされましたが、私はこの中身一つ一つについて申し上げると、持ち時間1時間では足りません。耳ざわりのいいことばかり並べて、もうこれ以上施策がないだろうというほど、このマニフェストには書いてございます。それを一つ一つ検証していると時間がありませんので、私としては、本当にこれらができ

るんだろうかという疑念の念がございますので、質問をさせていただきたいと思
います。

あなたは3歳、5歳の幼少のころより、お父さんの選挙手法を自らの毛穴から吸
収され、自分自身の選挙でも県議3回、知事選1回、市長選1回、計5回の選挙戦
を通しての選挙に勝つためのマニフェストだというふうに思えてならないわけでご
ざいますし、あなたはそのテクニックをよくご存じです。

ただただ感心させられるわけでありますが、昨日の上原議員の質問の中で、マニ
フェストを固定しているわけではないと言われた。また、同僚藤田議員の質問では、
公約を語ったわけではなく、夢を語ったものだというようなことを言われた。今ま
だ町民の皆さんに問いかけているんだと、これでいいのやろうかと問いかけている
ようなマニフェストだというようなことを言われました。まさにみんなでつくるマ
ニフェストだということをおっしゃいました。

それはおかしい。いくら自分一人で考えたものでなくても、10人くらいの方々
でつくったものだといえども、その10人の方々は、あなたを選挙で当選に導くた
めの選挙参謀であって、公約を語るものではなく、当選を果たすためのものではな
いか、このように思えて、そもそもマニフェストとは何か。

私はマニフェストというものは、自分個人の政治理念を語るべきものだと思って
おるわけでございます。あなたはそれに、一番後ろからでも見えるぐらい約束(中
村議員 マニフェストを提示)こちらも約束と書いてあるのです。これを見られた
有権者、町民の方々は、それぞれにこの中身はやってもらえるものだ、こうやっ
てもらえれば、この人に決めようと思われたに違いありません。

その約束、私、朝5時半に起きて広辞苑を引いてまいりました。そうしましたら、
約束とは、ある物事について将来にわたって取り決めること、契約、約定とあるの
です。例として約束証券、証券の発行者が自ら給付をなすべき義務を負担する約束
を記載してある証券、よく使う約束手形でございますが、振出人が受取人に対して、
町長が町民に対して、一定の期日に一定の金額を、受取人またはその指図人、もし
くは手形所持人に無条件に支払うことを約束して振り出す流通証券であると、この
ように書いてあります。

私、あなたのマニフェスト、選挙が終わったけど、まだ大事に取ってあるんです。
あなたが振り出したものを私は持っているんです。約束してもらわないと不渡りとい
うことになりますね。不渡りというのは、一般論では空約束というんです。

たくさんのこと、これは非常に難しいことだと考えておりますが、15名の議員
のうち1名、我々の同僚議員から、あなたと戦われた方が議席を失いました。特に
一番優秀な人が町長選挙に出られて議席を失っちゃったものですから、これから議
会とあなたと、いろいろやり合うのに非常に不安でならない。この厳粛なる議会に
おいて、言葉遊びはいい加減にしてもらいたいと思っておりますが、いかがなもの

でございましょうか。

特に町会議員や県会議員に立候補しているときは何を言ってもいい、何を言ってもいいということはないのですが、こうやりたいと、政治家は夢を語るべきだけれども、特に町長、知事というような執行権のある方がこういうことを、やれるはずがないようなことを、やるようなことを言ってしまうと、私はやってもらえるものと理解いたしておりますが、いかがなものでしょうか。

いくら2万6,000人弱の町といえども、町政はパフォーマンスではできません。実現できない政策ではだめじゃないですか。これがまかり通るならば、正直者がばかを見る社会になってしまう、まちになってしまう。

政策には裏づけが必要であります。政策を上げてても裏づけがなければ、詐欺に近い。まさにできないことを書いたら、マニフェスト詐欺ということになります。

この中身を実行すれば、必ずよくなると私自身も思います。確信を持って、そう思っております。だけど薬の袋ではありません。能書きを読んだだけで風邪が治るわけでもなく、能書きを読んだだけで腹痛がよくなるわけでもない。立派な能書きだけでは、このまちは救えない、よくならない。このように思いますが、いかがなものでしょうか。

また早速に、公約であります町長の給料20%カットの条例改正案が出されております。これはもう約束を1つ守ってやろうと、自分の意思でできることでございますので、当然と言えば当然でございますが、立派なことでございます。まことに歓迎の至りであります。

そしてまた先般、教育長については、周辺の市町との関係もありということで説明され、給料のカットはございませんが、副町長の分も5%カットする旨、出されております。他人のことはどうでもいいじゃないですか。私は副町長で止まればいいけれども、一生懸命頑張っておる職員の給与にまで及ばないことを、心から願うばかりでございます。

ただ、よく聞いてください。町長の給料20%カットはいいのですが、中身を見ると、ボーナスはそうではないというようなことが書いてある。普通の人には給料を減額すれば、今まで会社に勤めたことのある方は、基本給の1.8倍とか2倍とか、冬は2.5倍、2.8倍もらえるんだ。基本給を減額すれば、当然その基本給からの計算になると私は思っておりましたが、給料は2割カットするけれども、賞与は前のおりになると。これはまさにテクニックでしのごうという魂胆が見え見えてあります。羊頭狗肉という言葉があります。羊の肉を並べて、マトンだと売りながら、包んでくる肉は犬の肉、これを羊頭狗肉というのです。まさにこれは詐欺なんです。

そしてできないことをどんどん言う。鳩山さんがCO2の削減を世界に行って大きなことを言う。アメリカの基地は県外へ移す。できないことをこのように言う。

今、高校生では、できもしないことを、いろいろ俺はこうするんだと言うと、おまえそんなにはとるなよと言うんですよ。鳩山さんを文字って、はとるなと言うと、何を言っているのかなと思っていたら、余り大きな、できんことを言うなということだそうでございます。どうぞこの際、これより4年間は、このマニフェストをもとにした予算案を提示していただきたい。町長のご所見をお伺いしたいと思います。

なぜ私がこんな厳しいことを言うのかということ、この中のどなたもご存じないと思うんですが、20数年前、あなたのお父さんの選挙の際、あの時はここの議場で18人の議員がおりました。私、1番の議員で座っておりましたが、その時の町長からものを言われて、だれ一人として表に立って応援するような議員はいなかったんです。私一人だけは、我がまち東員町からの選出議員だからと大儀をかざして、員弁郡中、応援弁士で走り回らせていただきました。その時、あなたの口から私の家の応接間で申されたことを忘れない。これは個人的になりますので、この場ではこれ以上言いませんが、口約束といえども約束は約束、そしてどうなりましたか。

先般、国会の中継を見ておりました。菅総理の不信任決議案の上程された際の民主党内のごたごた、ずっと見ておりましたら、松木謙公議員のところへ、ちょこちょこ同僚議員が寄って行って慰めている。あの様子、心痛いほど心境が、私わかりました。

町長と県会議員がけんかしてしまっただけで何ともならん。春先、腹を減らして冬眠から出てきたヘビを助けてやるべきか、食べられようとしているカエルを助けるべきか、どっちが大事やということで、悩んで悩んで、私は地元の県会議員を助けるというとおかしいですが、応援させていただいた。そしてしばらくしたら、町長と手打ちができた。私、2階か3階へ上がって行って、もう飛び下りるしかしょうがない。あなた方、親子2代続いて人を踏み台にする。踏み台は大好き。利用する。はしごは使うが余り好きではない。すぐに外してしまう。

知事選出られた、市長選出られた時も、いろんな人に応援弁士を頼んだ。そんな方にも何のあいさつもなく、自分の就職活動かもしれませんが、やはりいくら東員町があちこち馬の町と書いてありますが、後ろ足で蹴るようなことだけはやめていただきたい。後ろに回って蹴られた男が悪いのか、蹴った馬が悪いのかわかりませんが、これが私は非常に理解に苦しんでおります。

そして町長室をなくす。まだ私、見に行ったことがないのですが、昨日の山口議員の質問に、戦略室に変更されたかにお聞きしました。ガラス温室ハウス、何も書いてなかったのに、急に今回の提案で70万円の予算が組まれている。そのお金があるのなら、町長室をなくするなら、町長室をオープンにする工事、これを出してくればわかりますが、それが出てなくて、ガラスハウスに町長室をつくるのか、何をするのか知りませんが、町長室をやめて、あそこを改造するというような予算がついている。一体これは何事やろう。

昨日の山口議員が指摘されましたあなたの文章に、検討するという言葉が非常に多い。ここに持ってまいりました「お役所のおきて」(中村議員 本を提示) こんな本、皆さん要らんかもしれません。実行してみえますので。

チラッと見てみますと、答弁に適切な言葉、「前向きに検討する」、前向きにというと、遠い将来には何とかなるかもしれないという、やや明るい希望を相手に持たせる言い方をするとき、「鋭意努力する」という鋭意は、明るい見通しはないが、自分の努力だけは印象づけたいときに使う。「十分に検討する」という十分は、時間をたっぷり稼ぎたいときに使う。「鋭意努力」、「努めます」というのは、結果的には責任は取りませんと言っておるのだ。「配慮する」というのは、机の上に積んでおくと。今よく使われている「検討する」、これは検討するだけで実際には何もしないこと。「見守る」というと、人にやらせて自分は何もしない。「お聞きする」というと、聞くだけで何もしない。「慎重に」というと、ほぼどうしようもないが、断り切れないときに使う、だが実際に何も行われないうことが、この本に書いてある。

私はこれから検討ではなくて試行する、水谷町政のもとでは、何事も言われたことは試行するという言葉を使っていたら、試してみる、だめならまた戻してみる、こういう態度が必要だというふうに思います。

何も知らないならともかく、昨日の鷲田議員の質問の時には、限られた財源の中でという言葉が使われました。限られた財源ということは、こんな大震災が起きた、国難、ひょっとしたら補助金やら、そういうものがカットされてくるやもしれない。

そんな中で、この町政運営は大変厳しいと思いますけれども、限られた財源の中でやっていこう。これは1番に何をするか、2番に何をするかということをはっきり示さないと、あれもこれもやっている間に4年間来てしまっ、何もせんうちに終わってしまったということになりはしないか。

ですから次の議会には、この6月議会、6月1日時点で、経常収支比率はどれだけだったか、何パーセントだったかということをお示しいただいて、1年ずつに、経常収支比率が何パーセントになったかということをお示しをいただくことをお約束していただきたい。

同じ年代でございますので、覚えておられると思いますが、昔からよく友だちと約束するときに、小指と小指を絡ませて、「指切りげんまん、うそついたら針千本飲ます」と、こういうふうなことを言ったことがあるんですが、もしうそをついていくつもりなら、針千本飲んでも、溶かしていくだけの強靱な胃袋をつくってからついでにいただきたい。この点について、今までの3点、4点について、町長のご所見をお伺いします。

議長(山本 陽一郎君) 水谷町長。

町長(水谷 俊郎君) いろいろご質問をいただきました。それと、いろいろご助言もいただきました。ありがとうございます。

私はマニフェストの質問にお答えをさせていただきますが、町民の皆様と一緒に
なって、これは検討をしてみたい、ご指摘のとおりでございますし、それで選挙
戦に臨んでまいりました。

選挙が終わってからも、まだまだこれについて、いろいろご指摘もご意見もいた
だいておる、このことも事実でございます。

このことにつきましては、昨日も藤田議員、上原議員からのご質問にもございま
したので、重複をいたしますが、町民の皆様と一緒につくってきたものでございま
す。それを1カ月過ぎましたが、先ほどのように、まだまだ選挙の最中に修正しな
ければならない点もありましたので、いまだに問いかけているところもございま
す。しかし、これにつきましては、これからやってまいりたいというふうな思いでつく
らせていただいております。

実施方向につきましては、藤田議員にも言いましたように、今までの行政という
のはたて割りでございますので、それに横串を刺すような感じで、政策を中心にし
ていきたい、このようなことでございます。

先ほどの質問の中で、私は政策を語ったのではなく、夢を語ったんだと言ったと
いうふうなこと、昨日の答弁で、それがあったと言われておりますけども、私には
ちょっとその辺の記憶はございません。

いずれにいたしましても、議員もご指摘のように、これができれば、ご賛同いた
だきましたら、このマニフェストができれば、いいまちになると言っていた。大
変ありがたいことでございますが、これには町民の皆さん、そして議員の皆さん
の協力が必要でございます。その協力をいただかなければ、全部できてません
ので、ぜひともご協力を賜りますよう、そして私がうそつきにならないように協
力をいただければ、これが推進できるものと確信をいたしておりますので、よろ
しくお願いを申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 中村議員。

5番（中村 充男君） 自民党から民主党、この東員町では何党で、どうい
う立場で出られたのか、はっきりとお示しをいただきたい。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 私は県会議員の時に、一番最初は自民党から出まし
た。2回目、3回目は無所属で出ております。ほかの選挙も、それ以後はずっと無
所属で、党派には属しておりません。今回の町長選挙につきましても、町民の皆
様とご議論を申し上げ、そして町民の皆様と一緒に、東員町をいいまちにして
いこうということで出させていただいておりますので、一つの党派に属するとい
うことはございません。

議長（山本 陽一郎君） 中村議員。

5番（中村 充男君） いわゆる町民党ということでいいわけですね。無所

属で町民党であると。

すると3月の月末でございますが、町内のある業者に、選挙でよそを向いているので、おれが町長になったときには指名を外すと、こうやって言われた業者が私のところに泣きついてみえて、今でも仕事がないのに、これどうなりますやろうと言ってみえたのですが、これが町外、県外の業者ならいいんですが、町民党で町民の皆さんの笑顔を見るために、そういうような手法を使われたとなると、ちょっと問題ではないかと。あなたが直接言われたのか、あなたのブレーンが言われたのか、私は直接聞いておりませんが、業者の社長が私どもに、そのように言ってみえました。その辺は、間違いならいいんですが、どうでしょうか。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 今の話はどこから出ているのか、全然わかりませんが、けれども、全くそのようなことはございませんので。どこから出ているのか、わかれば教えていただければありがたいのですが、全然わかりません。

議長（山本 陽一郎君） 中村議員。

5番（中村 充男君） 無意識に言われたのかどうかわかりませんが、後ほどまた、そこの社長とお会いしていただこうと思っておりますので、そのときには町長室がないといけません、どこかいい場所を選んでいただきたいと思います。

私は即始めていただきたいというのは、コロンブスでも、出航しなかったら、あのアメリカ大陸を発見することはできなかった。だから来月とか来年とか言っていたらいかん。もう今即座に、これはこういうふうにすると。2年後とか30年後、山口議員がそんな年までというようなこともおっしゃってみえたけど、即、できるできんは別、これはこういうふうに手がけました、こういうふうにしてありますということのようにやっていただきたい。

いい施策をやっていただければ、私は協力どころか、先頭に立ってでもやらせていただきたい。ススキを植えればバッタがとまり、松を植えれば鶴が飛ぶ。こういう言葉もご存じかどうかわかりませんが、いい施策をやってもらったら、町民の皆さん、喜ぶんです。

そしてあなたに言いたいのは公平公正、今年の商工会の新年の賀詞交歓会に出席させていただきました。皆さん異口同音、今年の景気はどうですやろう。よくなりますやろうかと言われるんですけども、景気をよくする悪くするは、商工会の皆さんなんです。その商工会の皆さんに、町長として、町はどのようにバックアップするか。

そして石樽トンネルが開通しました。どんどん流れてくる、この観光行政をどうするか。観光業界と、また話し合って、どのような町としてバックアップができるか。文化協会、体育協会、みんなそれぞれの諸団体と色々な意見を交わして、お金の要らない、ちょっとした工夫で、みんなが喜んでもらえることはできるはずで

す。

どうか町長、やいやいやいや選挙告示前から桃太郎作戦で歩いておられまして、いろいろやってみえたけれども、鳴いて羽ばたくホトトギスより、私の店の川べりに飛んでおりますホテルのように、鳴かぬホテルが身を焦がす、こういう言葉を胸にしまっていて、黙って光を灯していただきたい。そして東員町の町民、住民の皆さんをすばらしい方向に導いていただきたい。

大変ご無礼申し上げましたが、私は東員町の皆さん、周辺の皆さんが、あなたを町長に選んで本当によかった、そう思われるように頑張っていていただくことを切望しまして、あなたへの質問を終わります。

次に教育長、今までいろんなことを、嫌味を言ったり、嫌なやつがまた質問に立ったなと思ってみえるかもわかりませんが、今までは佐藤前町長のもとで任命され、多少遠慮というものがあつたと思うんです。今度は新しい町長にかわれまして、今までこういうことをやりたいなと思っていたこと、手かせ、口かせ、足かせといいますが、そういうものがあつて、今度新しい町長にかわつて、こうやたらいいというような行政、学校教育、社会教育を含めて、望むことがありましたら、この際、腹いっぱい教えていただきたいと思います。

よろしくお願いします。

議長（山本 陽一郎君） 岡野教育長。

教育長（岡野 譲治君） 中村議員のご質問にお答えをいたします。

腹いっぱい言えるかどうか、ちょっと自信がありませんけれども、答弁書を作成しましたので、思いを伝えながら、お話をさせていただきたいと思います。

水谷新町長を迎えて、東員町役場の中も、さらに活発に変革しようとしております。

私どもも水谷町長のもと、町民の皆さんが「東員町に住んでよかった、東員町で学んでよかった」と思っていただけの教育行政を推進してまいりたいと考えております。

特に町長の所信表明にもありました「未来への投資。将来東員町を担ってくれる子どもたちが、しっかりと自立し、大きく育っていくまちづくり」を重点目標に掲げられたことは、教育委員会といたしましても、大変心強く期待を申し上げるとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。

議員ご承知のとおり、地方教育行政制度の中核をなす教育委員会は、教育行政の中立性・公平性や継続性・安定性を確保する観点から、首長から独立した合議制の機関として設置され、当該地方公共団体の設置する学校の管理運営に当たるとともに、生涯学習、社会教育、文化・スポーツ等、幅広い分野で施策を展開をしております。

大きくは、独立行政委員会としての教育委員会であり、またもう一方は、管理執行委員会としての教育委員会であると私は考えております。

このような教育委員会の役割も考慮し、教育長としての所信を述べながら、議員お尋ねの「新町長を迎え、これからの町内における教育に望むこと」についてのご質問にお答えをいたします。

1点目は、独立行政委員会としての教育委員会という役割からは、先ほども申しましたように、教育の中立性・公平性の確保は、歴史的に見ても基本になると考えております。さらに、教育行政の継続性を保つことは大変重要であると認識しております。

特に、首長の交代ごとに教育行政の方向性が大きく変わることは避けなければならないと私は考えております。

教育とは、「目に見えること」と「目に見えないこと」「すぐに結果が出ること」と「何年後かに結果が出ること」があると思います。このことを十分認識した上で教育行政、特に学校教育は進めなければならないと考えております。

この点に関して言えば、東員町の教育基本方針を毎年作成をしておりますので、教育目標の実現・方針の具体化に向けて、水谷町長のご支援・ご理解をいただきたいと考えております。

2点目は、管理執行機関としての教育委員会の役割から考えた場合、町長と教育委員会は、より連携を深めなければならないと考えております。町長の教育に関する職務権限は「教育委員会の所掌に係る事項に関する予算を執行すること」となっております。このことから、「確かな学力・生活力をもとに社会に参画できる力の育成」と「東員町で学んでいる子どもたちをだれ一人たりとも落ちこぼさない」という決意のもとに推進している東員町の教育施策の実現のために、教育予算の確保に向けて、ご支援、ご協力をお願いしたいと思っております。

また、町長は教育に対する造詣も深く、そのキーワードになる言葉は「自立」と「住民参加のまちづくり」であると考えております。これは東員町の学校教育が目指す子ども像「自ら学び、自ら活用し、心豊かにたくましく生きる子ども」の実現や社会教育の目標である「住民のニーズに対応した、健康で教養豊かなまちづくり」と生涯学習に対する意欲に対応した社会基盤づくり」と共通しているものであり、ともにその目標実現のために努力をしたいと思っております。

教育委員会といたしましても、教育委員会は独立性が担保されているというだけでなく、地域の教育課題に主体的に取り組み、地域住民に責任を持つ教育委員会、教育委員会事務局にならなければならないと、思いを新たにしております。

3点目は水谷町長の新しい発想、高い目標、直近の民意の反映という観点から、教育委員会事務局としても示唆を受けながら、町長と十分議論をし、教育行政に反映をしていきたいと考えております。

教育委員会といたしましては、今後も高い志と使命感を持ち、東員町の保幼小中に通わせて本当によかったとだけ思っていた学校・園づくりを進めてまいりたいと思っておりますし、東員町に住んでよかったとだけ思っていた生涯学習・スポーツの振興等に努めてまいりたいと思っております。

どうぞご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

以上でございます。

議長（山本 陽一郎君） 中村議員。

5番（中村 充男君） よくわかりましたが、何かオブラートがかかっているような感じでございます、教育長は文化会館の館長でもありますね。総責任者ですかね。今は事務局長ですか。前は教育長と聞いていたんですが。

先日、全員協議会の席に文化協会の会長がお越しになりまして、表の野外ステージを使いたいということを書いたら、だめやと言われたというんですね。今まで一度も使ったことがない、だめやと言われた。今度もう一回挑戦するんやということを書かれた。

今まで一度も使ったことがなくて、聞くところによりますと、20数年間でただ1回、商工会の若い子が使っているのですが、わずか。毎年使おうとしても、雨が降って使えなかったのではなくて、使おうとしなかった。もったいないことですね。いくらかかっているか。風雨にさらされ、悪くなって、改修はしなければならぬが、一回も使えないし、使ったことがないから使わせない。

新町長の今のマニフェストの11番目に書いてあるんですが、役場が管理している、例えば役場など、建物の中の空いている場所とか河川敷、公園、道路の使っていない場所など、公共の空いた空間を、地域の皆さんのアイデアで使っていただけるようにすると。それがたとえ目的外としても使ってもらいたいと。私が前々から思っていることを書いてもらってある。そうすると、あそこは前から使ったことがないので使えない。

私はプラネタリウムのあるところで、モンゴルの歌手のオユンナさんの星空コンサートをしたいと言った時も、今、閉館中やと。地元の小学校か幼稚園だけにしか見てもらってないんですと。何も秋空か冬空かわからないです。僕は星があればいいんです。そこできれいな声で、モンゴルで音楽を聞いているような歌をやりたいといっても、これも閉館、使えない。

いろんなことを、教育委員会といいますが、教育長の管理下のところが、だめですね。私は文化系の人間ですので、グラウンドで松山千春のコンサートをしたいとか、いろんなことを企画し、計画しているんです。

東員町で余りお呼びでないものですから、四日市のNPOで、一番街で軽トラ朝市、のぼりをつくってやらしたら、いっぱい人が来る。そういうことを今、自分実績を持って感動しております。

そういうものを私は東員町に取り上げていただきたいのだけでも、今まで何をやってもだめだと。ですから公共の空いた空間を地域の皆さんにとということ。空いているから空間なんです、空いたところを有効利用していただくことをお願いしたい。

そしていつもいつも、昨日の門脇議員のドイツへの派遣、これは10年一区切りで考えるとっておきながら、もうこの間、面接も行い、中から15～16名の人選ばれてしまった。選んでおいて今年はないというわけにはいかないのであれですが、中国はそんなに人数を連れて行って、2回に分けても、一気にいけと言っていないのです。小沢さんのように、チャーターしてみんな連れていけと言っているわけではないのです。第一と第二と分けるとか、やる方法を考えていただきたい。初めからそれはだめだというようなことでは何もできない。あれは今言われた公平性の中にあって、門脇議員もおっしゃってみえる。

前も言いましたが、長野県の川上村、小さな村ですよ。そこにどんどん外国人の研修生が入ってきて、レタスや高原野菜をつくっている。各家庭に2人、3人が泊まり込んで、その子どもたちは英語や中国語を教えてもらっている。今度、ロシアかソ連からソユーズという宇宙船に乗っていくのも川上村出身の人です。前も言ったとおりでございます。非常にハイソサエティな小さな村です。何や百姓かと思っているけれども、非常に文化的にも高い感覚はあります。

ですから今度のドイツ、決めてしまっ、人も発表されたようでございますけども、今から来年どうするか、新しい町長とドイツに決めていくのか。先ほど公平性、継続性と。継続性はこれで継続していくのは10年、11年、12年、いいのですが。公平性、業者も一緒。値段を合い見積もりすることもない。個人負担が10万円あるかもしれませんが、30万円も40万円も、人に対して税金を使っているわけですから、皆さんに公平に。

今回、もしああいうところに行きたい、ドイツとは言わずに、20人規模だったら20人、その予算の中で行けるところはどこだろうと。50人いたら50人連れていけるところはどこだろう。毎回コンペをやってもいいではないですか。そのほうが公平だと。

ドイツ語、言葉だけではない。語学研修ではないと言われるんですが、どう見ても私は安い旅行ばかり行っておりまして、トルコ8日間、5万8,000円、フィリピン、4泊5日、2万円、オーストラリア、ジェットスターがなくなりましたが、往復2万円。そんなような飛行機ばかりで、向こうでインターネットでアパートをとって、あちこち走るんです。そんなことをやっている私の旅行体験からいくと、ドイツへ1人何十万円も、ましてや五つ星、四つ星のホテルに泊まるわけでもなく、民宿に泊まっているのか、普通の民家に泊まっているようなことを言ってま

すが、それでそれだけの金が要るかどうかということが不思議でありませんが、もう一度その辺、お尋ねしたいと思います。

議長（山本 陽一郎君） 教育長。

教育長（岡野 譲治君） 中村議員にお答えする時に、よくマイクが壊れるような気がするんですけども。

まずドイツのことについて、お答えをいたします。

ドイツに関しましては、昨日もお話をさせていただきましたけれども、昨年度末、10年終わった段階で検討するということで、検討委員会がありまして、そこで検討していただきました。

その結果、やはりドイツを続けたほうが良いというような結論になりましたので、進めさせていただきました。それも私のほうから中国というお話もありますよといったら、現場の先生や保護者の方が、いや、これよりはドイツのほうが良いと、何でドイツをやめる理由があるのかと。安心・安全、今までの中でいろいろ培ったものがあるのに、それを捨てて、また中国へ行くのか。200人の方をだれが連れていくのか、というような意見がいっぱい出たんですけども。

そういうことと、先ほど公平性と申しましたけれども、全員をお連れしていくということが、やっぱり不可能であります。中学校の修学旅行、何年もかけて、一中でも二中でも、9人から12～13人の先生方がついて行って、やってもらっています。その前の研修会も、内容の豊かなものをずっとするために、やっていただいているのです。

観光旅行でバスに乗って、さあここへ着きました、何分間観光してください。そしてまた時間が来ました。バスに乗ってここへ行ってください。ホテルは何か星ですか、そういうホテルに泊まっていただくと。そういうことは、ドイツは目的としておりません。ホテルもそんなによくありませんし、できる限り安くしようという形で経費を削減しようとしております。

また、民宿で苦勞する体験、そんな立派なホテルで、おいしいものを食べるというのではなくて、そういう体験をできるところを選んでやっております。内容等もそういうことであります。

ドイツのことばかりになってしまいましたけど、野外ステージに関しては、今年のお話ですか。今年使えないということですか。ちょっと私ども、把握してないんですけども。私どもも、いろんな施設は積極的に使っていただきたいとは思っております。ただ、何かの理由でそれができないかどうかは、私今、把握しておりませんので、答えることができませんけれども、そういうことでございます。

ありがとうございました。

議長（山本 陽一郎君） 中村議員。

5番(中村 充男君) 昨日のどなたかの時もそうでしたが、答えたくない時は、そのマイクは調子よく切れるようになっているようでございまして、先ほどのドイツの件もそうですが、これはこの本に書いてあるのですね。時代の流れで変えていく必要があると。それをいかに守って、自分たちが姿勢を示さず、みんなの意見で、父兄からこう言われたからどうのこうのと、みんなのことを公約してやっているのなら、これはいかに守りの姿勢を貫くかということの端的な表現だそうでございます。どうぞひとつ守りではなくて、守りに入ったら衰退していただくだけ。攻めの東員町行政を、町長にも教育長にも望んで、私の質問を終わらせていただきます。

大変ご無礼を申し上げました。